

赤木川パックラフトでダウンリバー

シリウス班 丸～

赤木川中流～下流域は河川と車道が並走しており、道から見える範囲では特に大きな難所もなく、初心者でも何とかなりそうだと一度下ってみたいと思っていた。時期については、6月からアユ釣りシーズンに入る所以で、気兼ねなく下りたいと思い5月末までのチャンスを狙っていた。車道と離れる上流域～中流域の下見を兼ねて滝本「栗山」～小和瀬橋までの区間を2回に分けて下った。初心者の私の感想としては、滝本「栗山」～熊野川町鎌塚の区間は、4カ所ほど70～80cmぐらいの落ち込みやホールなど2～3級の瀬場があり、水量など条件によっては結構緊張すると思った。一つ一つの瀬場の距離は短いのだが、下見のために下船・乗船したりと慌ただしく時間もかかる。静閑瀬は、隔絶された雰囲気で名の通り流れも穏やかで静かだった。中流域の熊野川町鎌塚～小和瀬橋の区間は、車道が見えるので自然の雰囲気がどうかと思っていたが交通量もほとんどなく、それほど気にはならなかった。瀬場は1～2級ぐらいで特に難所もなく、のんびりするには最高だ。アクセスがいいので何度も下りたいと思った。赤木川の水位情報は、インターネット検索で上長井にある水位計を参考にした。水位の感想としては90センチ以上あれば全区間の約9割強は乗船できると思った。水防団待機は2mとなっていることから、1m50センチ以上の時は川に入るのをやめておくべきだろう。過去のデータから年間平均水位は46cm、これでは大半が河原歩きとなり辛い。濁りのない85cm～1m15cmぐらいがベストではないだろうかと考察。



4月30日の小和瀬橋から見た水位

上長井の水位計をメモするの忘れた。

水量は多いと思うが濁りはほとんどない。

パート1 上流～中流域

催行日：令和3年4月30日（金）晴れ 最高気温21°C 2日前～前日にまとまった雨が降った。

所要時間：車道歩き 熊野川町鎌塚8:40頃発⇒滝本「栗山」11:20着

川下り 滝本「栗山」12:00入渓⇒熊野川町鎌塚15:52 着



5月23日の小和瀬橋から見た水位

上長井の水位計では、10時の時点で83cm

水量は前回よりは少なめ。



パート1 4/30、車道を進む途中、静閑瀬入口と書いた古い看板があった。さらに車道を進む。11時20分ごろ、滝本「栗山」着。道路から川は見えないがザーっと近くに水の流れる音が聞こえる。

滝本「栗山」付近に来ると車道の下の方に2軒ほど人家が見える。車道から人家傍に下る道があるが敷地内に入る手前で柵がしてて入れない。吊り橋の方に進む道があるはずだが入るところを間違えたのかもしれない。仕方なく川に向かって歩く。杉林からのぞくと川が見えてきた。水量は思ったよりも少ない？か。



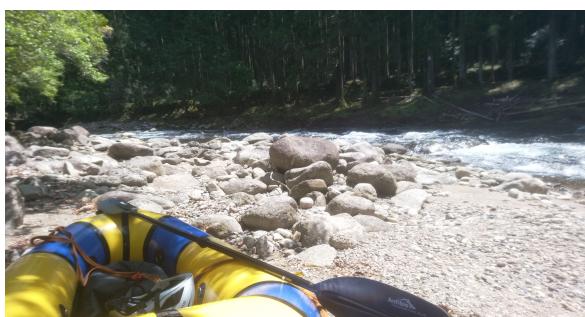
崩れた堰堤から見える吊り橋



二本目の吊り橋



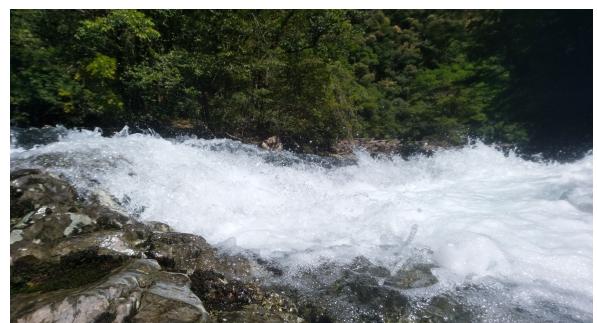
いざ出発。入渓してすぐに崩れた低い石垣堰堤があったので回避。少し先の方に吊り橋が見えたので一旦上陸する。2本目の吊り橋を渡るとプール状になったところが見えた。ヤッホー！とテンションが上がり、再度入渓。しかし、先の方でザー、ゴオー！と音が聞こえたので下船し、下見をすると70~80センチぐらいの落ち込みがあり、その下は石が所々見え隠れする激流だったので回避した。人工物の痕跡？お腹も減ってきたがもう少し先に進むことにする。浅瀬で乗れないところは下船したり、乗船したりを繰り返す。



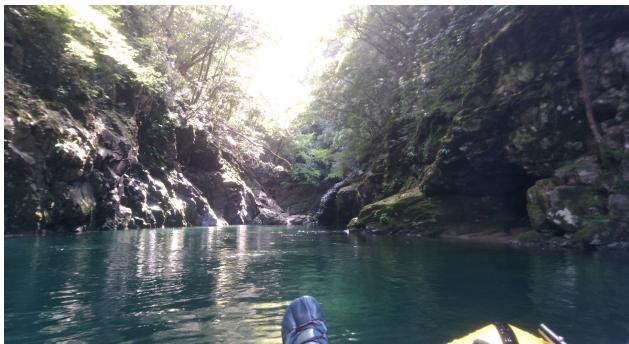
12時45分頃、いい感じの河原があったので昼食をとる。今回軽量化で用意していたパドルは静水用(穏やかな湖畔で使用するタイプ)は500グラムを切る超軽量!しかし、この選択肢が後で災難になることに…。



序盤の瀬で乗船したまま、両腕を突っ張り覗き込むようにし、危険個所がないか見ていると、いきなりパドルが波にさらわれた!! 五輪真弓さんの名曲「恋人よ～ そばにいて～」と頭の中で流れ、パドルはいざこへ。ショックのあまりうなだれ、流れに身を任せていると奇跡的な再会!くぼんだ瀬場でプカプカとパドルちゃんが浮かんでいるではあ～りませんか!逢いたかったぜ!ベイビー!



遠目には乗り切れそうだと思っていても、近くに来ないとわからない。隠れ岩に乗り上げたり、なかなか思うように流れに乗れない。おまけに漕いだ時、水圧でパドルが片方、ポキッ!えっ! これ以上パドルを失わないように注意し、浅瀬ではお尻を強打しないよう手足を突っ張り、お尻を上げた恥ずかしい姿勢を繰り返し、腹筋を鍛えられると自分に言い聞かせながら流れる。3級クラスの瀬場では岩を乗り越えた水流が落ち込み、その下は水の流れが反転し、渦ができる。水流に捕まる「ホール」と呼ばれる状態になっているところで1回捕まった。パドルが軟弱なため抜け出せない。仕方なく、1mほど先には水の流れがあるのでそこに飛び込み脱出を図るが、荷物が流されないよう繋いでいたスリングに片足が絡まって足だけ船上に残り、足がつりそうになった。落ち着いて外し脱出。やれやれ。乗船するやいなや、またしても早瀬でもう片方のパドルがポキッ!もはやただの棒~、もうやけくそ!こうなれば最終手段、船体が横向きになって横転しないよう手の平でパチャパチャと舳先を流れる方向に微調整する、パチャリング作戦!



静閑瀬の緩やかな流れ。



クタクタになりながら15時52分無事到着

パート2 前回パドルの反省を踏まえ、しっかりとしたヤツでトライ。

催行日:令和3年5月23日(日)晴れ 最高気温26°C

所要時間:自転車 小和瀬橋9:00頃発⇒熊野川町鎌塚9:40着

川下り 熊野川町鎌塚10:20入渓⇒小和瀬橋13:30 着 距離は約6キロぐらい。

車で自転車を回収 小和瀬橋P⇒熊野川鎌塚 往復30~40分ぐらい

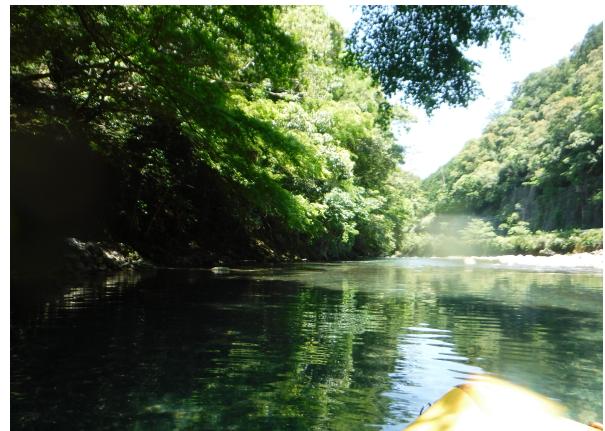
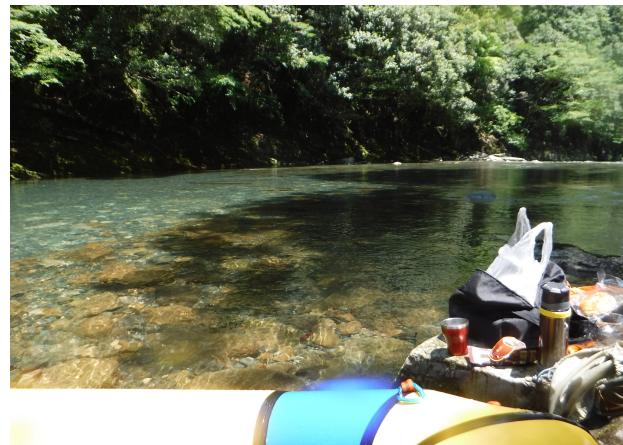


熊野川町鎌塚入渓地点



入渓地点すぐの吊り橋

入渓して、目の前に短い瀬場があったので、口笛を吹きながら、くつろぎ姿勢で流れるといきなり、バックドロップ！ あっ！という間に足の裏は空にむいて 沈～、油断大敵なのだ。



瀬場でコーヒーでも飲みながらダバダ～と違いのわかる男をイメージしていたのだが、船上ではこぼして大変なことになりそうなので下船してダバダ～とくつろぐ。やはり穏やかな湖畔でないと船上では飲めないな。



寿橋

小口自然の家手前の橋

小口自然の家手前から荒瀬となり、水位があると楽しい。水位が低いと石に乗り上げる。



和田川合流地点



小和瀬橋

和田川と合流するところは、広い河原となっており、増水跡が見える。増水時は危険地帯となるだろう。合流してすぐのワンポイントには川底の岩にあたってビックウェーブとなっていたところがあつた、調子に乗って突っ込むと楽しく転覆するかも？ 今回はちょっとビビってすぐそばを通り抜けた。13時30分無事到着。